



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

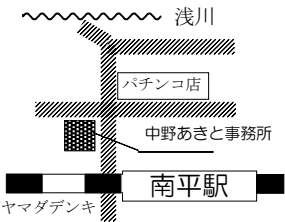
みどりと清流

中野あきと事務所 第142号
〒191-0041 日野市南平6-25-1
南平ビル1階 2014年
TEL・FAX 042-599-3350 4月発行
発行責任者 小林 進

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 3400円
日曜版1ヶ月 800円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



3月議会 一般質問

くらしとコミュニティを壊すのか 中野あきと市議「第4次行財政改革大綱」をただす

「今後もないということか」との追及には明確には答えず、「現在、検討の俎上には上がっていない」との答弁に終始しました。市議選前の市への聞き取りでは、学校の校庭や体育館も検討の対象であるとの立場を明らかにしています。注視が必要です。

学校の校庭と
体育館の有料化計画
計画では、平成23年度に利用団体との意見交換、他市の状況調査、料金徴収事務の検討をすすめ、平成25年度には有料化となっています。どういう検討を行っているのかを質すと、体育施設条例に位置づけられた体育施設で無料の施設はグラウンドで3カ所あり「今後（有料化）を検討していく」が、学校の体育施設については「現在、有料化の計画はない」と市は答弁しました。

4次行革では地区センターについて、27年度に「検討」、28年度に「見直し実施」となっています。私は、やらないのならやらないと答えるべきだと追及しましたが、「現在のところ検討していない」の一点張り、今後については明確にしませんでした。

地区センターの有料化
市は、今回私の質問に「現在、有料化の検討は行っていない」と答弁しました。地区センターについては、交流センターを有料化した際「今回は触れるのはやめることにした」（馬場・当時市長としていました。交流センターなどの受付に置かれている想定問答集でも、その他の集会施設の有料化については「公共施設は基本的に受益者負担の考え方」。今後の有料化を検討してきます」となっています。

質問に対し「学童クラブは月5000円で多摩26市で安いほうから3番目。保育料とともに、受益者負担の適正化の観点から、行革に実施期間内においてその方向性を出していきたい」と答弁しました。

保育料、学童クラブの負担金値上げ
「平成28年度までにその方向を出していきたい」と答弁しました。4次行革では、保育料については25年度実施、学童クラブ保護者負担金については26年度実施となっています。

「きりつとした冬をへて今年のは桜は4月が見ごろ。校門の花がピカピカの一年生を出迎えた。陽光そそぐ浅川土手。市営住宅の桜並木をゆつくり歩む人、携帯をかざし映像に収める人。▼帰路たち寄った牛丼店。腹に収めた牛皿定食には、消費税分がキツチリ上乘せられていた。賃金・年金の目減りを尻目に17年ぶりの大増税。月替わり直前、量販店の生活必需品は在庫切れ、ガソリンスタンドには車が連なると触れ込みとは裏腹に、社会保障は増税分のためか1割。庶民泣かせの貧乏神は「小さく生んで大きく育てる」誕生秘話通り、法人税、所得税を凌ぎ、税収の柱にのし上がるとして

▼復興特別法人税の廃止。投資減税に交際費減税。来年4月からの更なる法人税減税。国土強靱化による大型公共事業の乱発。5年間で24兆円強の大軍拡予算。打ち出の小槌片手に、まるでタガが外れたかのような浪費も始まる▼黙っていたら10%へ！来月10月からの更なる増税は、今年中に判断すると安倍政権。暮らしを守るのたたいはこれからが正念場。声をあげ汗をかき、生活破壊の増税計画を散らさねば（K）

「暮らし直撃の大計画 力を合わせストップを」。2月の市議選で日本共産党は日野市の第4次行革大綱を告発し、皆さんに訴えてきました。各種の公共料金の値上げや施設の有料化、市立保育園、児童館の民営化、公立幼稚園の統廃合、就学援助や障がい者手当の削減、高校奨学金の廃止など福祉や教育、地域コミュニティに重大な影響を及ぼすものです。3月議会の一般質問では、この計画を取り上げました。なお、国民健康保険税の問題は、次号でご報告します。

駐車場、駐輪場の有料化
無料になつている駐輪場、駐車場の有料化については、有料化していくことを明らかにしました。私は、「日野市の環境政策の中で自転車の位置づけや利用促進の方針に照らして、有料化がどういう影響をもたらすと考えているのか、そういった検討をしているのか」と質しましたが、まともな答弁はありませんでした。市は、放置自転車対策を強調しましたが、環境・まちづくりという大きな観点が欠落していると言わなくてはなりません。

短信

きりつとした冬をへて今年のは桜は4月が見ごろ。校門の花がピカピカの一年生を出迎えた。陽光そそぐ浅川土手。

ごみ処理広域化問題 どこまで暴走を重ねるのか



市議選でも大争点となつたごみ処理の広域化問題。自民党の市議から「選挙広報で反対を掲げた候補者が4名当選し、賛成をかかげたのは1人だった。大変厳しい結果だ」との発言が飛び出し、市長からは「厳しい」という指摘はその通り。(ごみ広域化のための)地元協議会に反対する方々も入っていたがなければ、成功しないと考えている」との答弁もありました。

事実をねじ曲げて断念を迫る?!

「可燃ごみ処理施設の建設スタート」とは

日野市発行のごみ情報誌エコー3月号が全戸配布されています。その中で「日野市・国分寺市・小金井市による可燃ごみ処理施設の建設がスタートします」の見出しが。しかし真実はというと、いま建設することができるかどうかが、3カ年にわたる環境影響調査をはじめたばかり。3年後に調査結果を東京都に報告し、建設へ向けての届け出を東京都に出して、そして建設予算が市議会で成立してはじめて建設がスタートということなのに。事実をねじ曲げ、ここまでして住民を追い込んでいくなんて、常軌を逸しているんじゃないでしょうか。行政の保つべき最低限の節度さえなくしてしまっています。

元住民をはじめ市民との軋轢と矛盾を深刻にするだけです。

「住民の意志によって自治体は運営される」という住民自治の原点に市長は立ち返るべきです。中野あきと

選挙の投票所の改善を提案

大変な大雪に見まわれた先の市議選。投票に行けなかった市民も多く、様々なご意見をいただき、3月議会の予算委員会等で、①地区センターなどを活用して投票所を増やす、②高幡不動駅の七生支所への期日前投票所の設置などの改善・充実を図る、③選挙掲示板設置箇所の改善を、④介護等を受けている高齢者に対する郵送投票制度の適用・拡充を、の4点にわたる提案を行いました。

これに対し市からは、一部投票所を増やす検討を行っている旨の答弁。3月議会では、他会派の市議からも提案が行われています。議会としての共同提案の可能性も含めて、実態に応じた改善が図られるよう引き続き取り組みます。

中野あきと

豊田地域の申し入れに日野市から回答

「住みよい豊田をつくる会」が、豊田地域の要望をまとめ、日野市へ申し入れていましたが、日野市から下記のような回答がありました。(抜粋)

●「川辺堀之内線ミニバス運行時間を前後1本増やしてほしい。併せて、1時間に2本に増やしてほしい」

【回答】交通空白地域(鉄道から半径500m、バス停から200m外)の解消を第一に検討、当面バスの増便、時間延長は難しい。…その後4月1日の「広報ひの」で朝夕合わせて5便の増発が発表されました。

●「(仮称)豊田第一公園予定地内に建設する多目的施設を地区センターとして機能させてほしい」

【回答】平成25年度末から26年度にかけて集会施設を建設します。集会施設は地域協働課の管理となり、施設の利用については無料となります。

●「スーパーアルプス豊田南店前道路と、豊田駅からの道路の交差点は事故が多い。信号を付けてほしい」

【回答】自治会からの要望も多い、日野市としては日野警察署に信号機設置を要請しているところです。



◇◇ミニ・ニュース◇◇

■…南平立体(京王線)の湧水の排水工事完了

南平のイゲタヤ前から一番橋に向かう日野市道1号線の京王線下の南平立体では湧水が道路に溢れていました。

市民からは「道路が滑ったり、冬は凍結の心配もあるので何とかしてほしい」との要望が出され、中野あきと市議も日野市に申し入れていました。



このほどその工事が完了し、道路への湧水の流入は無くなりました。

道路脇に並ぶ排水管

《2014年 5月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時~3時
5月 8日(木)
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せ下さい。